

# 平成29年度外部評価書

成子幼稚園

## 学校の教育目標

人の話が最後まで聞ける子      その後の、すべての「学ぶ」の基本になること      「ありがとうごめんなさい」が言える子  
 感謝の気持ち、善悪の判断      汗をかいて楽しく遊べる子      夢中になって遊ぶことが「からだ」を作る

## 目標・指標(評価目標)

	点 検 評 価 内 容	評価	外 部 評 価
教育経営	① 建学の精神に基づき教育理念や教育方針を名文化している。	A	基本理念が徹底されていて、個々に意識を持って対応できている。
	② 教育課程は教育理念に基づき、教育要領の精神を踏まえ編成し、幼児の実態・環境を踏まえ必要に応じ見直している。	A	高い意識、検討がされている。
	③ 園の教育理念や教育方針を教職員で共通理解を図っている。	A	問題なし
	④ 教育計画や保育内容、行事など教師間で定期的かつ必要に応じ実践できる体制がある。	A	問題なし
	⑤ 個々の幼児について、教職員が理解しあい幼児の実態に合わせた教育内容の精選を図っている。	A	職員全体による園児の理解がなされている。
	⑥ 幼児が人と関わる力を育めるよう、人的環境の充実や校正、機会を十分配慮している。	A	園の伝統とも思われるが、上の子が下の子の面倒を良く見る傾向にある。
	⑦ 教職員の資質向上のため、外部研修・園内研修を実践する体制や環境を整備している。	A	高い意識の中で研修への参加は積極的に行われている。
	⑧ 個々の教職員が自己課題(点検・評価)を把握し、その課題を達成する指導体制がある。	A	個々の目標の設定と目標達成に対しての環境はそろっている。
	⑨ 幼児が安心して様々な体験や活動ができるよう、適切な環境を創意し整備に努めている。	B	年長の行動に余裕がないところがある。
	人事管理	C	職員採用に関して充足されていない。
	安全管理	B	安全ではあるが、経年劣化している部分の対応が必要である。
	財務管理	A	特に問題はない。
	法人運営	A	特に問題はない。
	事務管理	B	ファイリングの一部が整合性がない。

成果・課題・改善の方策

- ①幼稚園としての大きな意味での指針がなく方向性が定まっていない状況がある。
- ②職員採用に関して今まで通りでは困難な状況となっているため、新たな方法のを検討して欲しい。
- ③幼稚園の優れた部分の外部に伝わっていない。新たな方法を考えて欲しい。